

環境変化に 立ち向かう 主体性を育む

情報通信技術が発展し、グローバル化が急速に進むこれからの社会。

答えの分からない問いにも立ち向かうことが出来る生徒を育てるため、

高校にはどのような指導が求められているのだろうか。

高校は、グローバル化・デジタル化に向けた取り組みを行っているか

Q. 生徒に対して、グローバル化・デジタル化する社会を生き抜くための指導や声掛けを、授業やHR、学校行事などで行っていますか？



出典／「VIEW21」高校版読者モニターへのアンケート結果より。アンケートは、2012年6月に Web 及び用紙の郵送により実施。回答は、Web もしくはファクスで回収。有効回答数は 70。

2つの大きな環境変化

グローバル化・デジタル化

将来生徒が直面する課題

- 多様な価値観や情報と向き合うために、言語やデジタル機器を道具としての確に使いこなせるか
- 多様な価値観や情報と向き合う中で、いかにして自己を確立するか

大学生・企業人が考える「環境変化に立ち向かうために必要なこと」

「外を見る経験を通じて、日本の内側を見ることが大切」
(国際教養大4年 忠津亜依子さん) [P.12~]

「流れている情報をうのみにするのではなく、自分でいろいろな情報を集めて、判断していくことが大切」
(立命館アジア太平洋大4年 谷口 茜さん) [P.14~]

「決して簡単ではない仕事だからこそ、それを楽しくするための想像力が大切」
(株式会社タカラトミー 榊島鉄平さん) [P.16~]

「グローバル社会で大切なのは、まず、相手の文化や考え方を受け入れること。その上で、こちらが主張すべきところは主張するというように、互いの接点や妥協点を見だしていくことが必要」
(株式会社メトロール 箕輪こずえさん) [P.18~]

「信頼関係をどうやって構築するか。相手が日本人であろうが外国人であろうが、そのために必要なものは同じ」
(日本オラル株式会社 石丸秀行さん) [P.20~]

高校の役割

環境変化に立ち向かう土台作り

「仕事も勉強も楽しくなければ主体的に取り組めない。つまり、自分をモチベートしながら実際に頑張る中で、社会で役立つ力が身に付くのだろう」



東京都立新宿高校
鎌田邦広先生

[P.6~]「教え子から学ぶ」より

「高校時代に大きな負荷を与えられて失敗し、そこから立ち上がる経験をさせることは、社会全体にとっても意味があることだ」

愛知県立時習館高校 林 誉樹校長



「失敗を重ねる中で、時に成功し、小さな達成感が味わえれば、それが次の取り組みへのモチベーション、主体性へとつながる」

石川県立金沢錦丘高校 表 純一校長

「部活動でも勉強でも構わないので、生徒に試行錯誤させることが必要だ」

大阪府立北野高校 楠野宣孝校長



[P.22~]「校長座談会」より

「主体性」の育成が更に重要になる

社会環境変化の中での「主体性の育成」を、4号連続で取り上げます

「体験を通して味わう感動が学び続ける姿勢を育み、他者に感謝をする気持ちが人を強くする。そのことを4・6月号のインタビュー記事を通じてお伝えしました。ベースにある課題は「主体性の育成」です。この課題は、今までも、そしてこれからも高校

教育が担うべき役割の1つです。本号以降の特集では、「グローバル化」と「デジタル化」の2つを環境変化のキーワードとして捉え、4号連続で、強い「主体性」を高校で育むために何が必要なのかを考えてまいります」(『VIEW21』編集長 小泉和義)

4月号

学び続ける姿勢を育む

6月号

他者のために学ぶ

8月号

本号

10月号

デジタル化と「主体性」の育成

12月号

グローバル化と「主体性」の育成①

2月号

グローバル化と「主体性」の育成②